

令和6年度 自己評価並びに学校関係者評価の結果報告の各分野における評価が低い項目に 対しての改善策

I. 教育理念・目標

【4】学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか

評価は 3.0

新入生や保護者に対しては、入学式後のオリエンテーションや後期開始時に、また、2年生に対しては前期や後期開始時に繰り返し周知し、学校行事などを含め学校理解をさらに深めていく。

II. 運営

【9】介護業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか

【11】情報システム化等による業務の効率化が図られているか

評価は 【9】2.8 【11】2.5

人事面では学生数の減少により経営の効率化を図り非常勤講師の数が減ったため、一部教員への授業時間増が生じた。経営状況を見ながら適正な業務分担を検討していく。今後、オンライン授業の実施も視野に入れ研究を進めたい。

III. 教育活動

【22】介護分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか

【23】介護分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みがおこなわれているか

【24】職員の能力開発のための研修等が行われているか

評価は【22】2.8 【23】2.5 【24】2.3

今年度は、昨年まで介護分野の一部を長年担当した非常勤講師が病気療養の為続けられなくなり、後任の講師を探すのに苦慮した。この分野の教員資格の経験者が少ない現状があった。

各教員は研究日等を活用し、様々な方法で先端的な知識や技能の修得、能力開発に努めている。しかし、令和6年度もコロナ後、校外での研修や研究大会等がほとんど行われず、参加困難な状況だった。

校内研修では、長期休業中に実施される研修会などに積極的に参加できるように勤務日等を調整し、職員の能力開発に努める。

IV. 学修成果

【28】卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

【29】卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

評価はいずれも2.5

卒業生の社会的な活躍や評価、キャリア形成については卒業当初は把握できているが、年数が経つに連れ状況把握ができない者もいる。職場での活躍が伝えられている卒業生は、講演会などの講師として招き在校生に講話をしてもらっている。今後も卒業生の状況を把握し、授業や学校運営に生かしていく。

V. 学生支援

【36】卒業生への支援体制はあるのか

【38】高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取り組みが行われているか

評価は いずれも 2.5

本校の卒業生で資格を取得できていない者に対しての補講や授業参加などで資格取得に繋げたい。
また、リカレント教育の一環として、本校の卒業生に対して、卒業教育、就職支援などを今後実施して行くことも必要である。

VI. 教育環境

【39】施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

【40】学外研修、インターンシップ等についての十分な教育体制を整備しているか

評価は 【39】2.5 【40】2.8

施設面において、介護用ベッドやほかの備品も順次最新のものを導入していく。(令和3年度に介護用ベッドを2台購入している)また、OA室のPCは、全てWindows10で性能上Windows11へアップグレードが不可能である。OSのサポート期間(10月まで)の問題もあるのでPCの順次購入を検討したい。

コロナ感染も収束したが、以前のように高等学校のインターンシップの実施は困難であったが、次年度も積極的に高等学校へ受け入れを働きかけていく。

VII. 学生の受け入れ募集

【42】学生募集活動は、適正に行われているか

評価は 3.0

オープンキャンパスや高等学校での進路説明会・進学相談会等、職業教育訓練生を希望する社会人の説明会や学校見学等で本校の魅力や介護のやりがい等、丁寧に説明を行い入学につなげている。また、2月3月には高校1、2年生を対象にオープンキャンパスを開催し、本校の理解と介護の魅力などを伝え、入学生が増えるよう着実に取り組んでいく。広報活動においては、本校の指定校推薦校や介護実習施設、ハローワークに本校のパンフレットやオープンキャンパス開催のポスター掲示をお願いしている。在校生や卒業生にも知人・友人への紹介をお願いしている。

VIII. 財務

【45】中長期的に学校の財政は安定しているといえるか

【46】予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

評価は 【45】1.8 【46】2.3

令和6年度の一般学生と職業教育訓練生は前年度と比べ増加したが、財政的には厳しい状態が続いている。学生募集に在校生、卒業生のほか実習先施設においても学校発信に協力をいただき、一人でも多くの募集につなげていきたい。また、地元の高校生の減少も要因としているが、更に本校の広報活動をより充実したものを構築していく。

IX. 法令等の遵守

【50】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

評価は 2.8

個人情報に関する保護の対策を明文化（文書化・電子化）しておく必要がある。自己評価の実施した結果、問題点があれば改善を図っていく。また、紙ベースの個人情報に関しては施錠の厳格化等、PC上の保護に関してはパスワードを設置するなどの対策を行う。

X. 社会貢献・地域貢献

【54】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

評価は 2.8

学生に対するボランティア活動の積極的推進を図る。各施設や団体（日本赤十字社・各市町村社会福祉協議会）等からのボランティア協力依頼を積極的に受け入れ、掲示等で周知、奨励を図る。令和6年度は赤い羽根共同募金や神川町の高齢者向けに絵手紙の作成などに協力した。